

議題（２）本格運行計画（素案）に対する市民意見について

1. 概要

★パブリックコメント

- ・募集期間：平成 28 年(2016 年)4 月 25 日（月）から平成 28 年（2016 年）5 月 24 日（火）
- ・提出者数：13 名（35 件）

☆説明会

- ・5 月 10 日（火）10:00～11:30 西南公民館（参加者 5 名）
- ・5 月 11 日（水）14:00～15:30 東生涯学習センター（参加者 1 1 名）
- ・5 月 12 日（木）19:00～20:30 みのお市民活動センター（参加者 8 名）
- ・5 月 15 日（日）10:00～11:30 中央生涯学習センター（参加者 1 0 名）

（1）運行計画（素案）25 件（★パブリックコメント：13 件、☆説明会：12 件）

1. 月～土曜日は毎時間同じ時間という事が定着してきたところなので、日曜日・祝日も同じ時間、ルートにしてほしい。（★5 件、☆3 件）
2. 市民の協力をもって大勢乗るよう努力をしてもらいながらとの言葉があったが、バスは公共のものであって、便利であれば利用する。便利にしてもらうのが先決。（★0 件、☆1 件）
3. 素案だと市立病院へは行けなくなっている。また東の方は西へ、西の人は東へ行けなくなっているため、ルートの分断に反対。（★4 件、☆4 件）
4. 収支率にこだわらず、もう少し利用者側にたったバスにしてほしい。（★1 件、☆1 件）
5. ルートが複雑なため、どの方向へ行くのか乗る前の周知を運転手がきちんとしてないと苦情が出るのではないか。（★0 件、☆1 件）
6. 高齢者の免許を返上するのが行われているが、返上するには公共交通が整備されていなければならない。なんとか運行しようとしているのはわかるが、いかにして日祝を削減する方向に向かっていると感じる。どうやって増やそうとしているのか。（★1 件、☆0 件）
7. 運行計画において、時間帯によってルートの異なるため、利用が困難になるのではないか（★0 件、☆1 件）

8. 休日の乗客が少ないのは、主な商業施設行けないからである。(★0件、☆1件)
9. 「月～土」を含むバスの往復のルートを一貫させるべきである。また、必要に応じ、混乱を防ぐため、往復双方向ルートでの運行を検討するべきである。(★1件、☆0件)
10. 阪急バスの届かない所が利点だと思います。(★1件、☆0件)
11. ルート数を増やし乗車時間を短くする。(★1件、☆0件)
12. 利用者が少なくても地域にとって必要な移動手段であり、利用数だけで廃止しない。(★1件、☆0件)
13. 「平日ルート運行さえも厳しい」現状であれば、日祝ルートは廃止は仕方ないのではと思いました。(★1件、☆0件)

(2) 運行ルート6件 (★ パブリックコメント：4件、☆ 説明会：2件)

1. 月～土曜日までである東山住宅・間谷住宅・彩都・みまさかルートがなぜ日曜日にならないのか。(★0件、☆1件)
2. 東ルートは行って帰るルートはわかるが、ダイヤがわかりにくい。(★0件、☆1件)
3. 買いもので利用している。東山住宅や間谷住宅、彩都コースをおねがいします。(★1件、☆0件)
4. 粟生・東山・間谷・彩都コースのエリアを増やして下さい。(★1件、☆0件)
5. 東部ルートについては、東西道路の白島1丁目より東が開通されたため、「171号

線の通過の廃止」が可能。今後白島1丁目～2丁目間も開通されるのであれば「白島2丁目交差点の通過の廃止」も可能だと思います。道路幅や交通量を考えると、東西道路のルート変更が可能な場合は、検討してはと思います。バスのルート(線)だけでなく、バス停(白島1丁目・今宮)の位置も含め、再検討をしていただきたいと思いました。(★1件、☆0件)

6. 北千里駅や千里中央駅等の近くの駅への乗り入れも行う。(★1件、☆0件)

(3) バス停4件 (★ パブリックコメント:2件、☆ 説明会:2件)

1. 手をあげたら止まるとまではいかないが、距離の長いときは、臨時のバス停を作っていただきたい。(★0件、☆1件)
2. 駐車場との連携し、そこにバス停を作るのはどうか。(★0件、☆1件)
3. 箕面2丁目にある瓢箪池の前にバス停を作って欲しい。(★1件、☆0件)
4. 移動の不自由な高齢者や障害者等も利用できる身近なバス停を増やす(★1件、☆0件)

(4) 運行ダイヤ13件 (★ パブリックコメント:5件、☆ 説明会:8件)

1. 日曜・祝日運行もパターンダイヤにしてほしい。(★0件、☆8件)
2. 走行路線の短縮化について、現在の95kmだとバスの遅延が起りやすい。人づてで伝わりやすく、余計に乗らなくなる。便数を減らして、距離を短縮して、遅延を少なくしてほしい。(★0件、☆1件)
3. 便数を減らしてでもパターンダイヤに。(★0件、☆1件)
4. 買い物の帰りの時間が大事。帰りの時間を検討してほしい。(★0件、☆1件)
5. 往路ばかりでなく、帰路のダイヤも確保し、配慮する姿勢を持たなければなりません。帰路の確保をお願いしたい。(★1件、☆0件)

(5) その他 21件 (★パブリックコメント：11件、☆説明会：10件)

1. 利用率を伸ばすために、観光とも連携すべきではないか。(★1件、☆2件)
2. お金はかかるが、市立病院にあるバスロケーションをスマホでも配信して、あと何分後に来るとかをやれば使いやすいのでは。(★0件、☆1件)
3. 休日・祝日は商業者の利益となるため、かやのにあるショッピングセンター等へもプロモーションとしてマップ等置くなど協力をしていくのはどうか。(★1件、☆1件)
4. 収支率の問題は必要かもしれないが、市としての価値を上げるためにかわいいゆずるバスをイメージアップ作戦として、市民に愛されるゆずるバスにしてはどうか。宣伝の媒介に使うなど、縮小するのではなく、使いやすいバスに。最初の投資は仕方がない。(★0件、☆1件)
5. 阪急バスの意見を抑え、オレンジゆずるバスのルートを優先的に決めるべきではないか。(★0件、☆1件)
6. もみじだよりもいいが、決まり切ったところでの広告だけでなく、新しくダイヤやルートにするなら、各自治会へもA3のポスターを配布し、住民に周知すべきでは。(★0件、☆1件)
7. 駅前のスーパーは出入りで渋滞してる。マイカーでの買い物でなく、バスでの利用の働きかけを市民だけでなく、商業者にも行うべきではないか。(★0件、☆1件)
8. サイネージで便利になったため、現在サイネージのないバス停にも設置してほしい。(★0件、☆1件)
9. 近く実現する北急延伸に伴う市内の全てのバス運行(ルート・ダイヤ)が見直されると思われるが、オレンジゆずるバスはそれに伴い、大幅に見直し、阪急バスの営業と一体となって、オレンジゆずるバスの廃止も視野に入れ、効果的なバス交通網を確立すべきである(★1件、☆0件)
10. 収支率向上なども必要だが、バス運行の市民への定着を重視し細部にこだわって、くるくる変更することはかえって、市民から離反し収支率低下につながる。

(★1件、☆0件)

- 1 1. バスロケーションサービスのアドレスを広報してほしい。とくにスマホのページを有名に。(★1件、☆0件)
- 1 2. コミュニティバスは、効率化だけを指向するものでしょうか。市民の足としてだれもが安心して便利に利用できるコミュニティバスとして位置づけていただけないものでしょうか。そこに税金が投入されても多くの不満は出ないと思います。急速な高齢化のなかで、いずれマイカー運転ができなくなったときこそ大きな役割発揮があると思います。(★1件、☆0件)
- 1 3. ゆずるバスに限って考えます時、これを出来るだけ、市のバスとして育て、市民には最終的には無料で市内を従応に行き来できるルートも、少しずつふやして行くべきだと思います。福祉バスがあこがれです。(★1件、☆0件)
- 1 4. 小野原→箕面高校へ行く阪急バスなど増やして欲しい。(★1件、☆0件)
- 1 5. 「経常収支」ばかりに目の色を変えるのではなく「市民へ税金の還元」という姿勢で進める施策を進行する姿勢が見られないのは残念です。(★1件、☆0件)
- 1 6. これまでの利用促進の効果があまり感じられない。多くの人々にオレンジバスの快適さ、利便性の高さに気付かせ、これから高齢になる市民にもその認識を高めるためには何をどうしたらよいかを考えたいものです。(★1件、☆0件)
- 1 7. オレンジバスだけでなく、バリのように「歩行者源極」などを設置して自家用車利用の制限をしてもみるのも1つの方法ではないでしょうか。(★1件、☆0件)
- 1 8. 平日のルートについて、出来れば如意谷住宅前にバス停を作してほしい。(★0件、☆1件)